



むすぶ



新潟市立結小学校
令和7年4月17日号

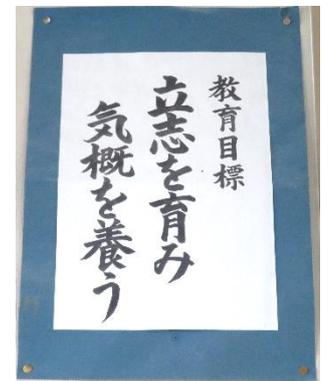
「強い心」と「やさしい心」を育む

校長 古泉 徹

1年生77名を迎え、令和7年度がスタートしました。教室や体育館、グラウンドなど、様々なところで子どもたちの元気な声が響き渡っています。また、朝、玄関に立っていると、「校長先生、おはようございます!」と、たくさんの子もたちが大きな声で挨拶をしてくれます。とても清々しい気持ちになります。

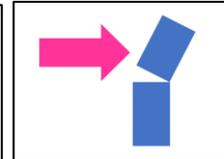
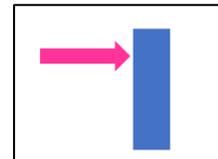
さて、新年度のスタートに当たり、始業式、入学式では、子どもたちに結小学校の教育目標について話をしました。

みなさんの教室に、結小学校の教育目標が貼ってあります。教育目標とは、「こんな子どもに育ってほしい」という願いが込められたものです。「りっしをはぐみ きがいをやしなう」と読みます。「前向きな目標を決めてやり遂げようと思う心を育てよう」、「少くらの困難に負けない気持ちを育てよう」という意味です。分かりやすく言うと、「たくましさ育てよう」ということです。



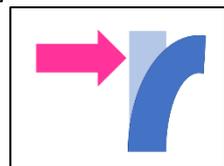
「たくましさ」と聞くと、どんなことをイメージしますでしょうか。おそらく、「強い」とか「がまん強い」といったことをイメージする人が多いことと思います。もちろん、これも「たくましさ」ではありますが、私は、「やわらかさ」、難しい言葉を使うと「しなやかさ」という意味も含まれていると思います。

例えば この図を見てください。強い力がかかったとき、「強い」「がまん強い」という「たくましさ」があったときには、簡単には折れません。しかし、もっと強い力がかかったときには、がまんできずに折れてしまうことがあります。



これが、やわらかかった場合、強い力がかかった時でも、しなってはね返すことができます。

これを心に置き換えてみます。「強い」「がまん強い」は、「強い心」。「やわらかさ」「しなやかさ」は、「やさしい心」です。



みなさんも、「強い心」と「やさしい心」をもっています。みなさんがもっている「強い心」と「やさしい心」を、友達や他の学年の人たち、先生方など、多くの人たちと関わりながら育てていってください。

学校は、子どもたち同士や教職員、また、ボランティアや地域の方々など、多くの人との関わりがあります。一人一人の子どもにとって、人との関わりが心の成長へと繋がっていくよう、教育活動を進めてまいります。ご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

